

「what3words」とは??

これまで位置情報は、主に住所や緯度経度が使われてきましたが、住所だけでは広すぎて特定の場所が定まらないことや、緯度経度では 8~9 桁の数値を 1 つ間違えるだけで別の場所が示されるなどの問題がありました。

「what3words」は地球上を 57 兆個のマスの分割し、3 つの単語で表現する新しい住所システムであり、世界中の場所を 3 つの単語で特定することで、住所がない場所でも正確に場所を伝えられるため、これらの問題を解決できるデータ変換サービスです。

●「what3words」の使い方



Web サイトの場合

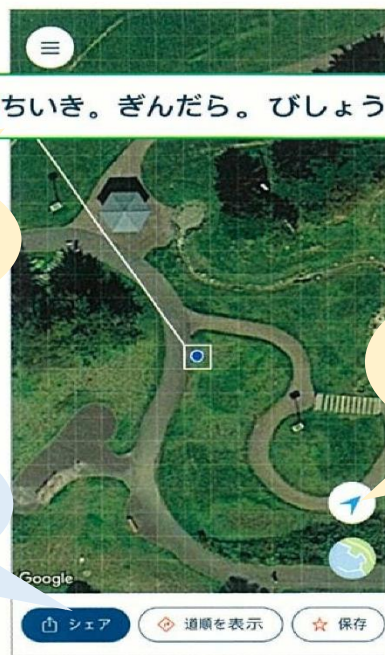
- ① 「what3words」と検索し、サイト上部の「マップ」をクリック

スマートフォンの場合

- ① 右記 QR コードより「what3words」のアプリをダウンロード



② 位置情報を検索



検索バーに住所や施設名を入力しても、3 単語が表示されます

検索バーに 3 単語を入力すると位置が表示されます

地図上の青い点が安定するのを待ってから現在地アイコンをタップすると、画面上部に現在地が 3 単語で表示されます

シェア機能を使用し LINE 等で位置情報を共有できます

●「what3words」の活用例

タクシーの配車サービス、ナビアプリ、人命救助などの緊急サービス(山や海の位置特定も可能)、物流など

● 恵庭市での「what3words」の活用

【生活環境部署での課題】

市民から電話で寄せられる、動物死骸回収依頼に対し、現場の位置関係がわからず、急行できない場合があります。

現状は、電話口から聞き取った情報を、紙あるいはデータ上で地図を開きながら位置を確認し、現場に向かうようにしていますがそれには大変な時間と作業量がかかってしまいます。

従来の場合

恵庭市〇〇で
鳥の死骸を見つけました。

市)近くに目印となるものはありますか？

何もないです…



特定の場所が定まらず
死骸の位置特定に時間がかかってしまいます。

what3words 導入後

恵庭市〇〇で
鳥の死骸を見つけました。

市)3 単語で場所を教えてください。
市 HP からでも報告できます。

マップを開くと、現在の場所
が 3 単語で表示される！

/// よぼう。こたえ。よしゅう



お問い合わせフォームに、3単語を入力すると、職員は3単語をもとに場所を特定できます。

what3words で
住所がない場所でも場所を特定できるようになります！